

はじめに

1 第3期戦略プランの性格と役割

この戦略プランは、平成20年3月に策定した「新たな農林水産業・農山漁村活性化計画」の基本計画（計画期間おおむね10年）に掲げた施策展開の基本方向に基づき、農業・林業・水産業各分野における重点的かつ集中的に実施する具体的な取組みを取りまとめた、第3期の行動計画です。

第2期での取組みの成果や課題、農林水産業を巡る情勢の変化、地方創生の動きなどを踏まえた上で、課題を絞り込んでプロジェクト化し、関係者が一体となった取組みを展開します。

この戦略プランが、持続的に発展する島根の農林水産業・農山漁村の実現に向け、県民や農林漁業者、関係機関・団体、行政が連携・協働して取り組むための共通の行動計画として活用されることを期待しています。

年度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

概ね10年後の島根の農林水産業・農山漁村の将来像・施策展開の基本方向等を示す

基本
計
画

5つの柱	13の重点課題
県民の安心と誇りの実現	○生産者と消費者の信頼関係構築による安全・安心の醸成 ○農林水産業、農山漁村の役割への県民理解促進
消費者に好まれる商品づくり	○多様な流通・販売の推進 ○消費者ニーズに対応した競争力ある生産体制の強化 ○消費者の好みや社会変化に対応した試験研究と技術支援 ○生産を支える基盤の整備
地域の実情にあった担い手づくり	○産業として自立する担い手の育成・確保 ○地域を守る担い手の育成・確保
魅力ある農山漁村づくり	○いきいきと暮らすための仕組みづくり ○地域資源を活かした農山漁村の活性化 ○快適に暮らせる農山漁村の整備
環境保全と多面的機能の維持増進	○地域資源の維持保全活動 ○環境負荷の軽減と資源の循環利用

基本計画で示す施策展開の基本方向に基づき、農林水産各分野における重点的かつ集中的に実施する具体的な取組みを取りまとめた戦略的实践計画

戦
略
プ
ラ
ン

第1期

県共通プロジェクト
23本
地域プロジェクト
61本

第2期

県共通プロジェクト
15本
地域プロジェクト
61本

次
期
戦
略
プ
ラ
ン
へ
移
行

第3期(H28~31)戦略プラン策定の視点

- 「島根県総合戦略」や「島根総合発展計画」の部門計画であることを明確化
- 県共通プロジェクトと地域プロジェクトの連携強化
- これまでの成果や課題、情勢の変化を踏まえた新たな要素を追加
- 他部局との連携強化

県共通プロジェクト 19本
地域プロジェクト 51本

2 第3期戦略プランの構成と期間

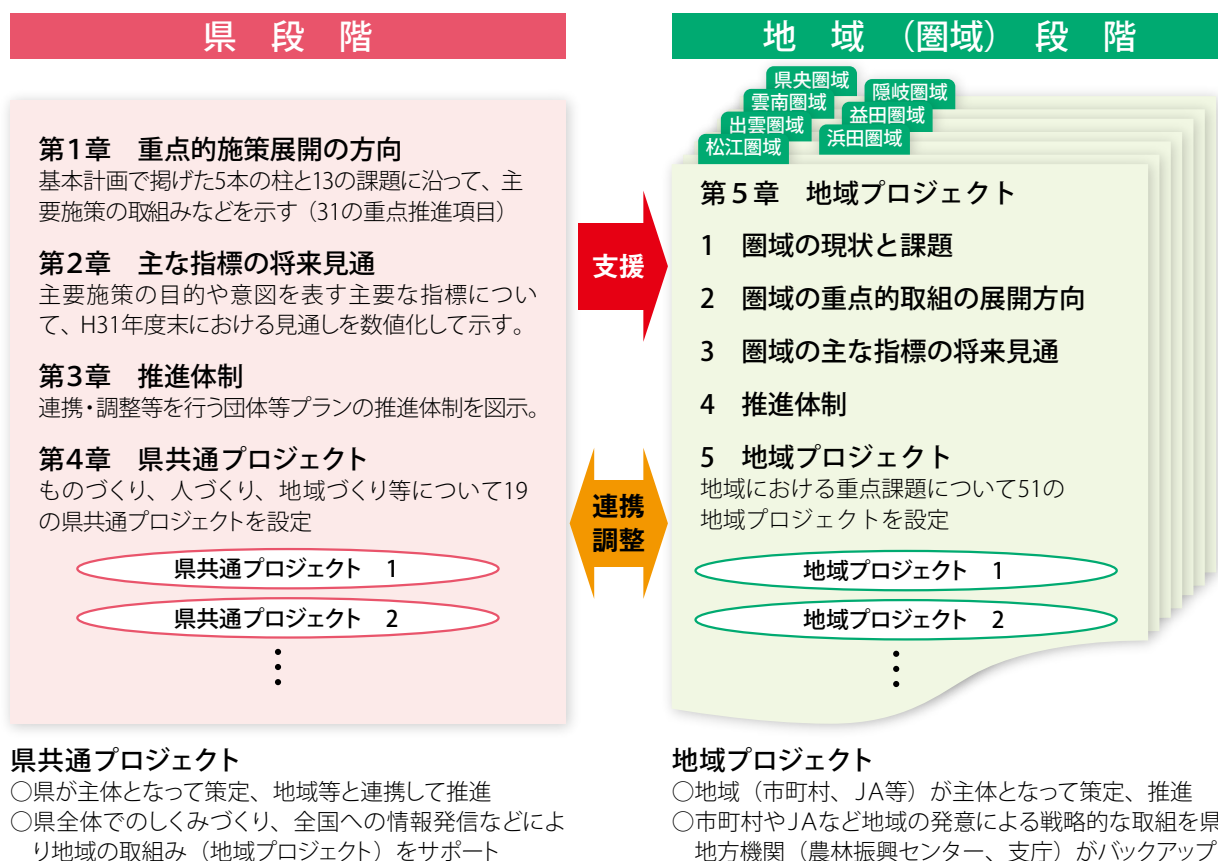
基本計画で掲げた5本の柱と13の課題に沿って、県の主要施策を示した重点的施策展開の方向等と、施策展開の具体的な取組みとして、県が主体となり地域と連携して推進する県共通プロジェクト及び農林水産関係団体や市町村等の地域が主体となって推進する地域プロジェクトで構成し、平成28年度から平成31年度までの4カ年間で計画期間とします。

また、各プロジェクトでは、取組みの成果を客観的に把握でき、プロジェクトメンバーをはじめとする関係者が共通の意識・目的を持つとともに、的確な進行管理ができるよう、成果指標（数値目標）を設定しています。

なお、各プロジェクトの成果指標は、以下により「総合戦略」、「県共通」、「地域独自」に区分されています。

成果指標(数値目標)

- 総合戦略・・・まち・ひと・しごと創生島根県総合戦略の重要業績評価指標(KPI=Key Performance Indicator)
- 県共通・・・県共通プロジェクトと地域プロジェクトが共通の指標として掲げている指標
- 地域独自・・・地域プロジェクトの中で地域が独自に掲げている指標



3 戦略プラン推進の基本姿勢

戦略プラン推進にあたっては、現場の関係者による話し合いの下に、問題や課題、推進方向等の共有を図り、「いつ」、「どこで」、「誰が」、「何を」を明らかにして進めます。

また、PDCAサイクル等を活用して進行管理を徹底し、取組みの成果と課題を踏まえた計画の修正や新たな課題に対するプロジェクトの新設など、地域の実情やニーズに応じた見直しを随時行い、柔軟かつ機動的な対応を図ります。